

<令和5年度将棋同好会活動報告第二報>

令和5年4月7日

将棋同好会世話人

小黒

(令和5年2月27日)

本日の参加者は小黒、橋本、出井の3名。囲碁同好会の宮田さんが囲碁のお相手が来られるまで将棋で小黒との対局をお付き合いして頂いた。途中まで互角の局面であったが囲碁のお相手が来られ、宮田さんが早指しとなり、小黒の攻めに対する受けの手を間違え、そのまま小黒の勝ちとなった。じっくり取り組めば実力の高い事が感じられる。

○小黒－橋本戦 橋本の○

通常通り、相居飛車の相掛かり戦。小黒の模様の取り方が悪く、序盤から苦戦を強いられ、橋本の一方的勝利となった。

○小黒－出井戦 出井の○

前回持越した局面からの再開。既に小黒の形成が悪い局面であり、そのまま出井が押し切った。

○出井－橋本戦 出井の○

本局も前回持越しからの再開。いつものパターンで、出井の振り飛車が好調。

次回は3月27日(月)

プロ将棋の出口六段(カネカ出口執行役員の御子息)は順位戦C1クラスで3敗目(6勝3敗)を喫し、令和4年度内でのB2への昇級の目はなくなった。残り1戦で勝利しても3位以内に届かない。コトにも罹患し、出口六段にとって令和4年度は結婚直後などあわただしい1年だったかも。令和5年度(令和5年4月からスタート)に期待したい。

(令和5年3月27日)

本日も参加者は、小黒、橋本、出井の3名。

○橋本 - 小黒戦 橋本の○

相変わらず相居飛車の戦い。最近の小黒は序盤から駒組みの模様を悪くしがちで、本局も同様に序盤から苦しい状況に陥り、なすすべもなく橋本の勝ち。

○橋本 - 出井戦 橋本の○

出井の3間飛車に対し、橋本はじっくり船囲いに囲い切ってから仕掛けから安定した指し回しで有利な局面を築き上げそのまま勝ち切った。

○プロ将棋界情報

現在、プロ棋士は4段から9段まで現役総勢160人強、引退棋士40数名ですが、残念ながら女性棋士は存在せず、女性陣は、女性のみプロ組織を別途構成し、女性だけで棋戦を作り戦っています。

プロ将棋界には8大タイトル戦+数種のミニタイトル戦がありそれぞれにスポンサーが付いており賞金を提供し、それを棋士が奪い合う戦いです。

最も重要なタイトル戦が順位戦(名人戦)で、A級、B1、B2、C1、C2の5クラスから構成され、プロの養成期間である「奨励会」を勝ち抜きC2クラスに入った時点で「プロ」とみなされ4段の称号、対局料が得られます。以後1年間での戦いで各クラスの上位者2-3名が昇級出来、A級の最上位者1名が時の名人に挑戦できます。これが名人戦です。7回戦で、4回の勝利で名人獲得です。現在の「名人」は渡辺明です。現在、第81期名人戦が始まっており、藤井聡太が挑戦中です。4月5、6日に第一回戦が実施され藤井が先勝しています。藤井は8大タイトルの内、既に6タイトルを保持し、この名人戦に勝てば史上二人目の7タイトル獲得者になります。(一人目は羽生善治)。史上初の8大タイトル総なめもまじかでしょう。

次回は4月24日予定